

神奈川県着地型旅行商品 開発支援事業

平成25年度 全体概要

神奈川には、豊かな自然、歴史・文化、都市景観、日本の近代化を支えてきた様々な産業の集積、地域の名産品など多くの観光資源があります。

また、近年は、農漁業体験や工場見学、地域ならではの食など、地域が育んだ独自の資源を観光資源として捉えた、地域ならではの体験・交流ができる旅行が求められています。

県は、今後、従来からの観光資源に加え、医療・癒し、教育、音楽、演劇、商店街など、これまで観光資源として捉えられていなかった分野も観光資源として捉え、人々を引き付ける地域ならではの観光を推進します。

本事業第1弾は地域に人を呼び込み、活性化させたい方々を対象とした講座を開催します。

第2弾は着地型旅行商品づくりに特化した内容を実施します。地域ならではの体験・交流ができる、顧客満足度の高い旅行商品づくりのノウハウを講義やグループワークにより身につけながら、実践的に旅行プランを作成、ブラッシュアップし、成果を発表していただきます。

成果発表において、実現性、集客の期待等が評価されたプランについては、モニターツアーを実施し、専門家・参加者が評価、広くフィードバックします。

各地域で着地型観光に取り組む方々が、継続して着地型旅行商品の造成・販売・改善に取り組み、県内に魅力的な体験・交流プログラムが数多く輩出され続けることを目標としています。



期間

2013年7月～2014年1月

参加料

無料／要申込み

全体プログラム内容 ※第1弾のみ・第2弾のみの参加も可能です。

地域に人を呼ぶ仕掛けを学ぶ講座

- ◆地域に人を呼ぶ仕掛けについて学びます。
【対象】地域に人を呼び込み、活性化させたい方々
- 第1弾
- 7月24日(水) 横浜 第1回 人が地域に訪れるための仕掛けづくり
「着地型観光」、「観光まちづくり」の第一人者である和歌山大学大澤准教授から、地域に人が訪れたい仕掛けを学びます。これまでの観光とは全く違った発想から、人を呼び込むために今やるべきことを学ぶことができます。
- 7月25日(木) 小田原
- 8月 1日(木) 横浜 第2回 元「横浜ウォーカー」編集長による
地域に人を呼ぶノウハウを学ぶ
8月 2日(金) 小田原
雑誌編集者から見たその地域に訪れたい地域資源の活用方法や、表現の仕方を学びながら、着地型旅行商品を企画するノウハウを習得します。

着地型旅行商品化支援

- ◆専門家とともに地域に人を呼ぶ着地型旅行商品づくりをします。
【対象】地域ならではの資源を生かした着地型旅行商品をつくりたい方々
- 第2弾
- 9月中旬 第1回 着地型旅行商品づくり
地域に人を呼ぶためのプランを作る実践編講座です。ターゲットを決め、地域資源を活用しながら、そこでしか体験できないプランを作成していきます。
- 11月初旬 第2回 着地型旅行商品づくり
専門家のアドバイスの下、第1回で考えたプランを更に磨き上げます。プランの実現に向け、タイムスケジュール・金額設定・PR設計なども具体的に考えます。
- 12月初旬 第3回 着地型旅行商品づくり～成果発表
第2回までに作成したプランを発表します。専門家のアドバイスや参加者同士での評価を行い、実現できそうなプランを選びます。
- 1月中旬 モニターツアーの実施
選ばれたプランのモニターツアーを行います。来年度以降、そのプランが地域内で自主的に行えるよう、専門家・参加者が評価し、フィードバックします。



参加者特典

- 1 ソーシャルネットワークを使った参加者同士の情報共有を行なうことができます。
- 2 観光関連の調査データ・実証実験レポートなどを含む地域を元気にするための応援情報誌を配付します。